大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊
二月一日(木)

新京市永樂町一丁目 發行所 新京日日新聞社
發行人 十河忠男 編輯人 松本啓二 印刷人 谷郎

在庫米の捌け口を海外にもとむ
積極的海外賣却に決定

〔東京國通〕米穀統制法に依る無制限の買上米は米價が最高公定値段三十圓五十錢を越えざれば一般市場に賣却するを得ず、從つて巨額の政府米の處分方法は種々の意味で非常に重要視される、依つて農林省では米の新規用途を開拓すべく既に七萬五千圓の豫算を計上したが、更に米穀統制委員會の諒解を得たる海外賣却を此際積極的に謀らうと方針に決した、政府米の海外賣却は所有米處分、米穀資金捻出、新市場開拓等の意味で之迄もぽつぽつ行はれ、多い年は百五十萬石に上つたと云はれる而現在の如き未曾有の在庫米を有する以上、海外への賣却は二、三百萬石に上るべしと豫想される、因に輸出販路は支那、南洋、歐洲を始め米食のある世界の全面に及ぶのである

一月下旬貿易概算
大藏省發表

〔東京國通〕大藏省發表一月下旬の十六港外國貿易概算(單位千圓)

輸出	六九、九九〇
輸入	六九、八一三
合計	一三九、八〇三
出超	一七七
同旬以降累計 入超	一四、三九七

同旬重要品輸出入額

輸出	生絲	一一、六二九
	綿織物	一六、七七三
	絹織物	二、九八六
	人絹織物	三、一一二
輸入	棉花	一六、八四七
	羊毛	五、七五二

獨逸の關稅引上延期 特産界に光明

新京管内歐洲向輸出大豆は目先飽和狀態を呈し〝最近〟の引合皆無となり港頭は逐日在貨堆積を見滿洲國政府の農民救濟策なる共販會も殆んど何等の効果を齎らさず特産市場は新安値を現出するに至りたるも最近に於ける獨逸が大豆輸入關稅の引上げ延期と内地の豆粕需要増加は一縷の光明を展べたるの感あり而して最近管内の持込は一日七千噸にして稍々漸減の狀況にあるも舊正決濟期を目睫に控へゐるを以て本旬は出貨増加を期待さる一方他線方面は北滿南部線前旬初來秘密割引運賃の實施に依り稍々増加を示しつつあれ共一日四十車程度にして結局現狀維持に止まるべしと、又京圖線は依然として出廻旺盛を極め一日五〇〇噸以上といふ騰勢ぶりで二十九日現在すでに社線向在貨二四、九〇〇噸を擁するの狀勢にあり、拉賓線は諸種の事情により出廻り未だ活潑ならず上旬中の南下豫想は僅かに十五車にすぎず又〝更に〟四洮線方面は出廻愈よ本格的となり一日平均百車程度を豫想せらるるに至つた

新京驛取扱の小荷物及魚菜數量

昨年度十二月中に於ける新京驛の小荷物取扱個數及びその重量は發表されたもの通常扱六千六百三十五個その重量八萬四千九百九十グラム噸、生果野菜二十六個、六百七十五グラム噸、鮮魚四十個、九百九十一グラム噸、金銀貨塊六十五個、四千六百五十五グラム噸、其他特殊扱が二千三百七十個、一萬二千四百六十グラム噸、合計八千七百八十一個十萬四千七百七十一グラム噸で別に滿鐵社用品が二千四百三個あり、同じく到着したものは通常扱一萬三千九百十五個三十萬八千四百九十一グラム噸生果野菜九百九十六個、四萬五千七百四十九グラム噸、鮮魚四千四十ヶ、二十六萬二十一グラム噸、其他特殊取扱が二萬二千六百九十一個六千六萬六千七百六十九グラム噸で滿鐵社用品が三千三百十三個である

一月下旬輸出入額表

〔東京國通〕大藏省發表一月下旬の輸輸出入額表左の如し

輸出入總額 外六、九九〇、〇七〇・八〇三

重要輸出入

生糸	一一、六二九
綿織物	一六、七七三
絹織物	二、九八六
棉花	一六、八四七

吉海京圖沿線に 鐵路愛護村生る

〔吉林國通〕吉海、京圖兩鐵路管理局では吉林を中心として各沿線に鐵路愛護村を設ける事になり豫て各方面と折衝中であつたが愈よ具體案成り昨三十一日各村有力者十餘名を〇〇〇司令部に招待し軍參謀列席の下に種々話るところあつた、目的は「文化は鐵路より」のスローガンを掲げて沿線各村に鐵路擁護心を植えつけると共に沿線各村を鐵路愛護村と名づけ村民の愛路心によりこれを保護せしめるといふにある

大連港の時間外積卸規定

從來大連に於ける時間外の積荷仕役は稅關監視課に申請許可を受けてゐたが今回之が取扱を徵稅課に變更され海運業者に多大の不便を來したので交渉の結果左の如く決定した

一、稅關特設仕役は豫め判然して居る場合は徵稅課に申請許可を受ける事

一、出むを得ざる事情ある場合は理由を附し從來通監視課に申請許可を受ける事

一、許可を受けずして時間外に仕役したる場合は仕役を差し止め相當の處分をなす

拉賓線狀況 (二)
自一月十六日 至一月廿六日視察

新京鐵路事務所營業係 根占好人

三、水曲柳驛狀況

イ、驛舍、貨物事務所、貨物構内完成しおれり、貨物は將來相當の出廻あるを豫想して貨物構内は混保大豆檢査狀態として三〇〇車を收容し得る廣大なる面積を有す

ロ、驛内在貨は市街遠き爲調査困難なりしか出廻物は京圖線孤店子、樺皮廠に向ひたるを以て在貨殆んどなき見込なり、今後出廻は地形其の他より推定するに三〇〇車内外にして之も大部分孤店子方面に向ふならむ

ハ、市街は驛の東北方約四〇Kに在り人口約四〇〇〇と稱せらる、驛より市街に向ふ途中に山岳あり故に乘降客及貨物の持込に甚しく不便なりと云ふ

四、新站、水曲柳驛間の地形

新站より四家房迄は小城子附近を除く外多くは山岳地帶にして各驛共林産物を以て構内充滿し、殊に新站大家子、馬鞍山驛間は風光佳絶なり、水曲柳附近より山岳は東北方二、〇〇〇M以上の所にそへ西南方一帶は廣大なる農耕地なり

五、山河屯驛狀況

イ、驛舍及貨物構内完成し貨物構内は檢査狀態二〇〇車の收容かあり倉庫は一〇〇坪一棟あり

ロ、驛内在貨三〇〇車(内大豆二五〇車)構内在貨大豆一二車あるも大連大豆相場の下落及拉濱線の運賃高の爲託送を見合おれり

ハ、糧棧は一〇餘軒あるも何れも小資本な爲國際より金融を受けおるも大連相場安き爲手持品の荷動なき爲運轉資金不如意なるを以て目下買付を手控ゐる狀態にあるに依り出荷馬車は著しく減少し當地に出廻るべき大豆は馬車にて京圖線孤店子樺皮廠に向ひおれり、尚本驛と北滿南部線二道河驛の中間に在る榆樹(八行の集散地に)は大豆在貨一〇〇〇車あり之は運賃特定せらるるならば當地は大部分は出廻るも若し現行運賃の儘ならば馬車にて三河驛及下九台驛に向ふものと思はる、當地國際は山河屯發特定運賃を發表せらるる樣希望しおれり

ニ、年後貨物出廻見込五〇〇車内外と思はるも運賃の如何に依りては其の半分位にて終るものと豫想せらる

ホ、大豆の品質は一等品上位程度にして水分も一二%内外なるを以て南滿の如く雨雪の被害なかりしものの如く故に今後の出廻物も品質は低下せざる見込なり

ヘ、市街は驛の南西一五Kに在り人口約四〇〇〇人にして附近は一望千里の大農耕地なり、旅館、料理店なし

日滿悲曲 生命線を行く (七十六)

國友雄吉 (荒川秀三郎畫)

母子の行方

日本軍の入城によつて一陽來復、滿洲里は再び、平和の市街に蘇つたが、しかし、それだからといつて、容易に安心はできなかつた。

蘇炳文の部下三千の護路軍は、恐く、露國の領地内へ遁げ込んだとはいふものゝ、しかし油斷の出來ない支那兵のことである。中には多少の兵が居殘つて、それが、在留支那人の群に紛れ込んで、いつ何時、どんな騷ぎを惹き起さうとしてゐるかも知れない。まさか大きな事は行れないだらうが、さうかといつて打棄つておくことはできなかつた。

だいたい滿洲里の總人口は、一萬六千二百人といはれ、その中に、日本人が三百人あまり居て、殘りの大部分は、露西亞人と、支那人なのだから、若し、蘇炳文の殘黨、或ひは他の匪賊などが、支那人部落に混入してゐるとすると、それを調べ上げることは甚し、容易に行はれさうになかつた。

そこで我が軍隊では、同市占據とゝもに、警備巡視隊を出して、嚴重に警戒を行つてゐた。

警備隊長は千原中尉であるが、中尉は滿洲里乘り込みと同時に、軍務に忙殺されてゐたが、その後、やゝ餘裕ができたので、かねて佛一に約束をしておいた、彼の妻君や子供の安否を調べてみる事にした。

領事館員。在留日本人中の主なる人々などが、その時、まだ居殘つてゐたので、取敢ずその人々に就いて問ひ合せてみた。

「十月廿九日に、當地を引揚げた婦人小兒の中には、氏家佛一氏の妻君や小供は、加はつて居なかつた」

「事件勃發の當時、主人の氏家君は、日本へ旅行中で、奧さんと坊ちやんと二人で留守居をしてゐたが、なにぶん大混雜の場合とて、何處へ避難されたか不明であつた。越えて九月廿八日、婦人子供を全部領事館へ收容したが、その時も來た、二人は發見されなかつた」

「奧さんの市子さんは、なかなかシツカリした女性だから、ムザムザ支那兵の暴行に遇ふやうなことは無からうと思ふけれど、ちやうど當日の朝、その市子さんが支那兵に拉致されて行くのを、目撃したといふものがある。それで非常に心配してゐる。しかしその時は、市子さん一人で、坊ちやんを連れては居なかつたといふことだ」

大體以上のやうな返事であつて、その中の一つとして中尉を安心させるやうな手懸りを得られなかつた。

畢竟して市子、茂彦の行方が不明だとすると、それこそ大變で、恐らく、讒にしたところで、「支那兵の暴逆の刄」に、慘殺されたのでなからうか——?」といふ悲慘事を想像せずに居られないであらう。

中尉は、兎も角もその事を、早く佛一に知らせてやりたかつた。知らせてやりたくても、その佛一も亦行方が知れないのであつた。

「佛一君が聞いたら、どんなに驚くだらう」

さう思ふと、中尉自身も、胸が痛くなるのであつた。

「君の奧さんや子たちは、キツト無事で、いま頃はもう、日本へ歸つて居るだらう——」と、このあいだ海拉爾の宿舍で、中尉は佛一を慰めた。それは只、その場の氣休めのつもりで言つたのでなく、中尉自身も、全く、さう信じて居たのであつた。

それが、今となつてみれば、偶然、佛一を欺いたことになるので、中尉は、大きな罪でも犯したやうな自責の念に惱まされるのであつた。

「若し二人が無事で居るとすれば、或ひは今でも滿洲里の何處かに監禁されて居るのでなからうか——それとも、支那軍の潰入と同時に露領へでも連れ去られたであらうか——」

と、中尉は考へた。そして兎も角、滿洲里市内から探つてみようと決心した。

殊に中尉が注目したのは、滿洲里にある支那の貧民窟であつた。

昭和十一年に於る日米兩國海軍比率
隻數では日本四十隻多く　トン數は同勢力

〔東京國通〕去る二十七日の衆議院豫算總會で内田信也君(政)の質問により我海軍の第二次補充計畫の完成後即ち昭和十一年十二月に於ける日米海軍勢力の

『比較』が問題となり海軍では三十一日文書をもつて衆議院豫算總會に發表したがその艦現有勢力は米國十五隻四五五、四〇〇噸、日本は九隻二七二、〇七〇噸であるが、昭和十一年までに艦齢超過となるのは米國七隻、日本四隻なるもロンドン條約により大艦の建造許されず從つて昭和十一年末に於ける勢力は日本五隻一五四、七五〇噸、米國八隻二五一、六〇〇噸でその比率は六割二分である、航空母艦は昭和十一年までは日本の五隻七八、四二〇噸に對し米國は五隻一一九、八〇〇噸となり、その比率は六割五分、甲級巡洋艦はロンドン條約に束縛され、日本は十二隻一〇七、八〇〇噸、米國は十六隻一五二、六五〇噸（他に建造中二隻）あり比率は七割一分、乙級巡洋艦は日本の十七隻九八、七九五噸に對し米國十四隻一一〇、五〇〇噸となり、比率は八割九分である、驅逐艦は艦齢内の比較では日本は斷然優勢となり七十六隻一〇五、一一一噸になるに對し米國は僅に四十六隻六七、三六〇噸となり比率は一、五六となる、潜水艦は斷然日本が優勢となり三十五隻五二、五五二噸に對し米國は二十四隻三三、六七〇噸となり比率は一、六一となる、而して補充艦（巡洋艦、驅逐艦、潜水艦）總計の

『勢力』は日本の百四十隻三三六四、二五九噸に對し三六三、一八〇噸となり、隻數では日本は四十隻多くなるも噸數は同勢力となる

帝國は比率主義の改訂に斷乎反對
來るべき軍縮會議の臍を固む

〔東京國通〕來るべき海軍々縮會議を目睫の間に控へて目下開會中の議會は貴衆兩院を通じて帝國海軍の確固たる具體案提出の用意ありや否やを當該大臣に肉薄してゐるが、其の説くところは軌を一にして比率の設定による海軍勢力の決定の不合理性を難詰するものあるに鑑み、海軍當局は愈よ意を決して一九三五年に開催される海軍會議には比率主義による海軍條約改訂開催に斷乎反對の臍を固むるに至つた、即ち

一、比率が軍縮の尺度となつたのはワシントン會議の際ヒューズ國務長官が自國に有利な現有勢力比率によつて保有量を決定せんとするため案出された便法であつて何等恒久妥當性がないものであつた

一、比率は即ち量の比率であつて質の比率ではない、從つて米國が今回ロンドン條約許容量一杯の建艦を計畫すれば、我國としても已むを得ず數億圓に上る第二次補充計畫を强行する立場となり、軍縮本來の目的たる國民負擔の輕減は空名に歸し、戰爭の脅威は倍加し、而も低比率を押しつけられた我國やフランス、イタリー等は國防の安全も到底期し難くなる

一、從つてこゝに新な軍縮尺度の案出の必要にせまられてゐるが、右は即ち帝國海軍のワシントン、ロンドン兩會議に於て强調した守るに充分、攻むるに不充分の海軍力を目標に最低の海軍力を目標に最低の保有量内において融通性を認め自國の最も得意とする艦船の保有をお互に承認する事にある、こゝに始めて軍縮の崇高なる目的は達せられるのである

昨年の米收高
七八、四七一、三四〇石　前年より一千萬石の増收

〔東京國通〕農林省發表、昭和八年の米收穫高は七八、四七一、三四〇石で天候の順調とその後の氣温高き爲め良好なる收穫を得た前年よりの増加額は一〇、四五七、〇三六、前年平均よりの増加一〇、三三七八、七九八である

公定價格米賣申込みで　政府の倉庫は早や滿員

〔東京國通〕公定價格の米賣込み申込は三十日までに三、七四九、八五〇石で政府の指定倉庫は最早收容能力無きため五萬坪のバラック倉庫の建設を急いでゐる

孫殿英軍　寧夏城の衝く

〔北平卅一日發國通〕北部甘肅省に於ける孫殿英軍と馬鴻逵の戰闘は馬軍が石嘴子附近に於て孫軍の一部を破つた當初極めて有利であつたが其後孫軍の後續部隊來着と共に形勢は逆轉し孫軍は高地に陣地を構築、一部の兵力を殘し巧みに馬軍を攻撃せしめつゝ主力を黄河々北に沿ひ南方に大迂廻を試み大擧寧夏城を攻撃したゝめ不意を衝かれた馬軍は防戰の術なく同城陷落は二、三日中と觀られるに至つた、尚中央より發せられる戰闘中止其他の命令は一切用ひられず同方面の緊張は逐次擴大するの觀を呈して來た

劉桂堂軍　堂々五千を擁す

〔北平卅一日發國通〕劉桂堂軍は冷縣河南省北部平漢線西方附近に在り、その兵力は逐次增加して現在既に五千を算するに及び何柱國、劉峙軍の一部を加へ、これが討伐に當つてゐるが、事態仲々進展せず、最近劉は閻錫山の許しを求め山西を通過して孫殿英軍との合流を企圖してゐる

米國政府平價の四割一分切下斷行
切下益金二十六億に達す

〔ワシントン國通〕ル大統領は三十一日大統領令を以て弗平價の四割一分方切下新平價を五十九仙とする、同時に右切下に依つて得た利益金約二十六億弗中の二十億弗を以て爲替安定基金設定をなす旨布告した

〔ワシントン國通〕米國外務省は二月一日より金値段を一オンスにつき廿十五仙方引下げ卅五弗とする旨發表した

弗貨の含金量變更

〔ワシントン三十一日發國通〕弗平價の四割一分切下けの結果新金貨一弗は十五グレイ二十一分の五（十分比千分の九百）の金を含むこととなつた因に舊正貨の含有量は二十五ポイント八グレイである新平價はル大統領が大統領令に署名した三十一日午後三時十分より直ちに効力を發生するものである

製鐵合同問題未だ治まらず
豫算總會で又一もめか

〔東京國通〕貴院本會議に於ける上山滿之進氏の製鐵合同問題に關する質問は一先づ打切りとなつたが、衆議院各派では中島商相の答辯に滿足せず豫算總會の開催される時に當つて再び同問題を取り上げ、政府に同問題の眞相を明かにせんとしてゐる

滿鐵辭令

新京鐵道事務所技術方雇員　高木又一
同　早野昌藏
技術員を命す　鐵道部甲傭　織田要
新京機關區修繕方を命す

筒井書記官　來任遲る

大使館一等書記官筒井氏は五日着任する筈であつたが病氣のため出發を延期した

米の平價切下と日常生活への影響

アメリカ合衆國ではいよいよ四割一分の平價切下げを斷行したが、それにつれて日本でも平價切下げ説が出てゐるが日本で若し平價切下げをしたらどうなるであらうか

▽……△

先づ、通貨量が増大し、銀行等の手持資金が増大し、事業會社の社債募集が良くなる等々の經濟現象は兎に角として吾々の生活にはどう響くか

▽……△

先づ吾々は物價騰貴に見舞はれ、勢い俸給を増俸せねばならなくなる、然し俸給勞賃が騰つても、物價の騰貴率にはとても追ひつかぬのでサラリーマンは大恐慌に見舞はれるわけである、然し滿洲國の官吏は國幣であるので、今より益々良くなり、國幣一圓が金票の二圓位になるわけで、滿洲國萬歳となるわけである

▽……△

又借金してゐる人は、高い時代の借りを、安くなつた金で拂ふので、債務者は得をし、債權者は損をすることとなる

▽……△

借金持ちにとつて甚だ都合の良いこの平價切り下げは一體何日頃やるだらうか？ダルマ藏相は「やることはやるが、何日やるか明言せぬ。適當なときにやる」と云つてゐるので、今年中にやるか明年やるか判らぬ、現在の物價が適當な物價水準に達せねばならないので急には實施されないが早晩實現することは覺悟せねばならない

ウクライナの獨立運動猛烈
ソ聯政府大慌で首都をキエフに遷す

〔ハルビン國通〕當地に達した情報によればソ聯當局はウクライナの獨立運動が漸次灼熱化しつゝあるに鑑みその首都をキエフに遷し且つ黨の淨化を圖り極力これが防止策を講ずるところあつたが、同運動は依然として繼續され本年末頃にはウクライナの運動は一層猛烈となる形勢にあるので政府當局はその成行を重大視し北部地方駐屯軍隊をウクライナに移動せしめてゐると

製鐵合同問題に關する秘密會見　研究會側之を拒絶

〔東京國通〕製鐵合同問題で貴院の空氣は非常に硬化して居るため、中島商相は研究會交渉委員に秘密會見を申し込んだが、研究會側ではこれに對し拒絶の通告をなした

時餘に亘る芳澤氏の長廣舌
最後に外相を激勵　卅一日の貴院本會議

〔東京國通〕貴族院本會議は午後一時四十三分開會、元外相芳澤謙吉君登壇

芳澤君　私は詰問的に質問するものではなく又個々の業績に就て質すものでもない政府の所見を質したいと冒頭し首相、外相の演説を拜聽しその所信を承つたが、それに依れば、今後の方針は全て外交工作によつてこの難關を打開するにあるとされてゐるが、幾多の刺衣的困難があるのではないかと思ふ、明年は海軍々縮會議が開かれることになつてゐるが、日米兩國とも兩海軍の意向を取り上げて會議に臨み、而して兩方互に固執するといふことを想像すれば會議は決裂といふことになるに相違ない、その場合に於て樂觀論者は會議が決裂したからとして戰爭の心配はない、建艦競爭の樣なことも無いだらうと云ふが、悲觀論者はそれからそれへと心配してゐる、然らばこれを如何にするか、會議を開いて決裂する位なら、會議を開かぬ方が良いから豫め交渉をする必要がある、交渉の上で開くか否かを決めるが良いと思ふ、會議を開かぬことは我日本に良いのみならず、相手國にとつても良い結果になるのではないかと考へる、第二には明年の軍縮會議に再び極東問題が持出されるのではないかと思はれるのであるが

これは前例のあることで、ワシントン會議でも論じられた、この點については政府の所信を決めて置くことが肝要である、即ち日本は東洋の平和維持に全責任を持つてゐる、從つて改めて極東問題に就て論議するの要はないと思ふ、海軍問題に就ては、日本としては日本の立場に於て五、五、三の比率で極東の平和維持が出來ぬとせば、維持し得るだけの比率の要求をなすべきであると信ずる、次は日ソ間の問題であるが自分は日本とソヴエートの間に干戈を交へてまでも解決せねばならぬ重大問題があるとは思はぬ、日ソは互に密接なる間柄で日本はソ聯邦と國交を斷絕してはならぬ、廣田外相は一切を外交工作によつて平和維持に努めると聲明されてゐるが、私も

贊成である、日本はソ聯が共産制なるが故に容れるべきでないと考へるのは誤りであるソ聯邦が若しも戰爭してまでも東洋の赤化を完成せしめやうと云ふのであつたらそれは無謀である、それより通商問題を論じた後私は今日の事態は決して危機ではないと思ふ又危機が來るとも思つてゐないが、若し來るとしても一に外交工作によつて打開せねばならぬ、若し第三國が我々の意思に反して戰爭を仕向けるやうな場合は斷乎たる處置に出ればよいのであつて我々は最後まで平和手段によらねばならぬ、これについては外相も聲明されてゐる、私は首相外相の聲明に信頼する、次に帝國の世界的信望の象徴は滿洲國にかゝることゝ考へる、即ち滿洲國が確然と基礎安定すれば日本の立場は世界に向つて一段と光輝を放つものであるが、更に滿洲國の建設が完成すれば日支國交も圓滿にして行けるものと思ふ、幸ひ滿洲國は着々發展の歩を進めてゐる。これに就ては政府、軍部の努力によるものと深く感謝するが、更に萬全の效果を收められんことを望むと一時間に亘つて所見を述べ降壇

これに對し廣田外相答辯し

廣田外相　一々御答へすることは出來ないが徒らに薄氷をふむが如き恐怖不安を以て臨んではならぬ、自分は極東問題のために戰爭が起るとは思つてゐない、今更心配する必要はないと考へる、この際國家の信用を高め行くことが必要である

更に芳澤謙吉君の激勵に謝意を表し、二時十五分散會した

滿洲國に關し再認識した列國
續々新京に總領事館を新設

〔ハルビン國通〕國際聯盟をはじめとしてヨーロッパ諸國は今や三千萬民衆の總意として嚴然として世界の地圖を見事に塗り變へた新興滿洲國に對する認識を缺き時々兎角の得手勝手なデマを飛ばす傾向があるが極東の事態を再檢討し自己の誤謬を清算した國家は率先して滿洲國に新に領事又は總領事を派遣して友好關係を設定しつゝあるが、現在ハルビンに於ける各國の總領事館及び領事館は左の通りで近く列國の總領事館は轡を並べて新京に新設されんとしてゐる

英國、米國、ベルギー、獨逸、イタリー、ポーランド、ポルトガル、ソ聯邦、佛國、チエッコスロヴァキア、リスアニア、ニデルナント

茶話

大使館の林出書記官はあの小軀でも仲々の酒豪東京音頭、秋の夜の踊りは實に堂に入つたものだ卅一日の千鳥の宴會で、その靈藝を公開溫厚篤實をもつて鳴る林出氏のこの隱藝には人々皆驚嘆した

□……□

同じ席で、鶴見書記官も隱藝〇〇踊りを公開殊におもちやとコンビで、太鼓を踊つたさまはヤンヤと喝采を博した

人事往來

▲金璧東氏（特別市長）一日午前九時發奉天へ
▲李紹庚氏（北滿鐵路督辦）一日午前八時三十分發哈市へ
▲徐紹卿氏（奉天實業廳長）八日午前九時發奉天へ

滿洲事變二ケ年半　我國の費せる犠牲

〔東京國通〕陸軍では三月末で取扱上の滿洲事變解消の實施をなすが二ケ年半の我が名譽の犠牲者は

戰死者　二、七六八
戰傷者　七、〇五二
經費　三億九千七百萬圓

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

品目	値
倫敦銀塊	一九片二分一
同　先限	一九片二分一
孟買銀塊	[illegible]
紐育銀塊	四四仙〇〇
米英爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナゴンダ株	[illegible]

▲印棉

限月	値
現物	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]
七月限	[illegible]
九月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
一月限	[illegible]
ブローチ	[illegible]
オームラ	[illegible]
ベンゴール	[illegible]

▲上海標金（寄本・止値）[illegible]

▲上海日本向　第一回 [illegible]　第二回 [illegible]

▲上海倫敦向　[illegible]

▲上海紐育向　賣値 [illegible]　買値 [illegible]

▲大連金鈔票　現物 [illegible]　寄付 [illegible]　近限 [illegible]　先限 [illegible]　出來不申

▲大連上海向　止値 [illegible]　高値 [illegible]　安値 [illegible]　出來高 [illegible]

▲大連煙台向　[illegible]

▲阪神日米爲替　第一回 [illegible]　第二回 [illegible]

各地市場

▲大阪株式　大株新 [illegible]　大鐘新 [illegible]　同紡新 [illegible]

▲同短期　[illegible]

▲大連株式　大鐘新 [illegible]　東新 [illegible]　未着

▲大阪三品　五品 先限 [illegible]　豆錢 [illegible]

▲大阪棉花　當限・三月限・四月限・五月限・六月限・七月限・先限 [illegible]

▲大阪期米　當限・先限 [illegible]

▲仁川期米　當限・中限・先限 [illegible]　未着

▲橫濱生糸　當限・中限・先限 [illegible]

▲神戸豆粕　現物・當限・先限・二月限 [illegible]

▲大連特產　麻袋 三月限・五月限 [illegible]　青鐵筋 [illegible]　爲替 [illegible]

●大豆　現物 [illegible]　寄引 [illegible]
●豆粕　袋込 二月限・三月限・四月限・五月限・六月限 [illegible]
●豆油　現物・二月限・三月限・四月限・五月限・六月限 [illegible]
●高粱　現物・二月限・四月限・五月限 [illegible]

新京市況

品目	現物	出來
特產大豆	[illegible]	十七車
高粱	[illegible]	八車
小豆	[illegible]	三車
包米	[illegible]	二車

錢鈔　現大洋對金票 [illegible]　哈大洋對金票 [illegible]　現大洋對鈔票 [illegible]

長女芳子儀豫而猩紅熱にて入院加療中の處養生不相叶一日午前二時死去致候間御通知に代へ此段謹告仕候
追而途中葬列を廢し二日午後三時新京祝町太子堂に於て告別式相營申候、尚御香儀御供物の儀は乍勝手堅く御辭退申上候
新京蓬萊町二丁目一番地
昭和九年二月一日
父　原口純允
親族總代　大迫元光
　　　　　島名福十郎
友人總代　上原種豐
　　　　　荒木章
　　　　　山元幸雄

新京局密輸事件 更に大波紋を描く

飽くまで大連側の手落とし 遞信局へ經過報告

新京郵便局の食料品密輸事件は本紙の特報によつて果然各方面の注目を牽き多大の衝動を與へるに至つたが滿洲國財政部當局ではこの際徹底的取調べによつてその眞相をつかみ嚴重處置に出づべく既に大連稅關に命じて早急探査に着手した一方當の郵便局側では同事件が公にされるや周章狼狽首腦部において凝議の結果飽くまで同局自身に關係がなく大連遞信局購買組合が何かの手違ひによつて勝手になしたものであるとし、其旨を關東廳遞信局へ逐一經過報告し本紙へも今朝刊記載の如く新聞記事取消しの申入れをなすに至つたが、これがため一旦平靜に立返へる模樣にあつた同事件を更に一層紛糾せしめた觀があり問題は更に大きな大波紋を描くに至つて其成行きは一般の視聽を牽ひてゐる

記者「行嚢とか郵便車は郵便物のみに使用されるもの、それを私に使用するなぞ大連側としても唯だの手違ひとか手落なぞとすまされないやうに思はれますが」

局長「そういへばそうかも知れませんがそれは實際の狀況を調べて見ぬと何とも申兼ねます」

記者「以上のやうな成行きで貴方の方としては今度の事件に何か責任を感じませんか」

局長「何を申しても當局の知つたことでなし、遞信局へはありのまゝを報告して置きましたいづれ取調べの結果何らかの處置に出るものと思ひます」

『責任は大連だ』

新京局飽く迄頑張る

局長「いづれあとして新聞にも出たのですから、取調べの結果稅關として追徵金を取ることになりませう、どうせそれまで待つて追徵金は支拂ふつもりです」

第三者に疑ひがあるといふならば致し方ないが、しかし當方としては何らやましいところはない

といふにあり萬事責任は大連側にあるものとしてゐるがその是非はいづれにあるかは今後の取調べの結果に待つよりほかなく、果して新京側の言分は眞實か否かについてはなほ多大の疑問が殘されてゐるわけである

即ち再び新京郵便局側の言分を聽くと

かゝる事件を惹起したことは誠に遺憾でありその不正行爲たることは認めるが、しかし當首腦部としては最初から關與したものでなく大連の遞信局組合において勝手になされたものである、この點世間に誤解があるやうだ、尤も最初から脫稅の意志があつたかどうか

追徵金は勿論出す覺悟

その點に私の方も手落ち 局長と記者の問答

右について新京郵便局に高橋局長を訪ふて一問一答を試みた、以下記者との問答の概略である

記者「記事取消しのやうなものが出てゐたが、不正行爲だとは認めませんか」

局長「無論それは認めますがたゞ當局には何ら關係はなく首腦部において指圖したやうなことはないのです」

記者「一切は大連側の責任だといふわけですね」

局長「そうです、何かの手違ひで大連でなされたもの、その證據にはあの時たゞ一回でこれはいけぬと思つて其次から正式の稅關手續を經てゐます」

記者「大連側の責任といつても貴方の方の用品です不正行爲によつて取寄せたものをそのまゝ默つて使用されるのは如何なものでせう」

局長「尤もそういはれゝばそうです」

記者「そんな事實が判明すれば早速追徵金を出すとか何とか方法はおもうと思ふがなさいましたか」

局長「いや御尤もその點は私の方にも手落があることを認めます、でも既に配達済みの事ですし……」

記者「進んで追徵金をお出しになられては」

街の日記

節分と星鎭祭 大正寺豐川閣で

市內曙町禪宗大正寺にては來る二月三日節分の日、例年の通り午後一時より、同寺鎭守豐川托尼尊天前に於て、檀信徒各家、家門繁榮、子孫長久、併て信者各位の本年度星守護祈禱法會を嚴修し七難即滅、七福即生、惡星退散、善星皆來、等を祈願する由、擅信各位、並に開運を希望する者の多數參詣を希望す

集金を橫領

靑木町臼井敏一氏方店員大重米雄（二六）は三十一日午前八時ごろ得意先から現金四十圓を橫領行方を晦した

長野縣人會賑ふ

長野縣人會は三十一日午後五時から料亭開花で開催出席四十餘名會長松島鑑氏の挨拶副會長淸水末一氏の庶務會計の報告が終つて開宴新入會者があるので各自自己紹介をなし寬いで歡談、郷土の歌謠信濃の歌の合唱や隱し藝など續出非常の盛會だつた

落しもの

▲城內北大街五十五番地滿蒙日報社洪景和氏　赤皮製トランク一個在中冬シヤツ上下時價二圓、支那絹地フトンカバン時價十三圓その他衣類ニ　書籍二冊を三十一日午後八時ごろ新京驛に行き馬車から下車の際車上に置き忘れた

▲吉野町二丁目六ノ四加島安太郞氏は黑皮製蟇口一個在中現金八十一圓四十錢加島の銀印二個を三十一日午後七時ごろ自宅から東一條通に行く途中落した

盜難屆

▲日之出町二丁目十番地金泰卿氏は三十一日午後八時自轉車一台時價二十圓を窃取された

節分の豆まき

三日の節分には新京神社で節分祭が午後七時から執り行はれるがこれは小祭で神官のみが奉仕する、各家庭では古來の慣習で年男が福は內、鬼は外と煎豆を撒く行事がある一方別項の通り花柳界やカフエーなどの女性が若きが年寄りに年增が若づくりなどしてものでめるが今年は新京キネマも長春座も映畫を上場の豫定であるから自然お化けはカフエー方面に出沒することであらう夜を騷ぎ廻らお寺と宗旨によつて星祭りをやるところもある

蛇牛哨驛附近

狩獵天狗をこまねく 危險も全くなし

獵天狗に耳よりな話題……いよく狩獵期となつて同好者が腰辨で獲物をあさりに出かける時期になつたが、この機會に狩獵地として有名な蛇牛哨驛では獵天狗、旅客誘致、獵遊地宣傳に資するため同好者に蛇牛哨獵地その他の案內書を各方面に配布した、それによると目下狩獵絕好期となつたが同地では事變後邦人の附屬地外遠出は最も危險多く狩獵者を困らしてゐたが、これがため却つて獲物は繁殖して一方兵匪の危險は一掃されたた今日天狗連には絕好の獵地だと、なほ前日まで蛇牛哨驛に知らすれば馬車、道路の案內をすると

三日は節分 お化けで賑ふ

花柳界やカフエー

寒いくと云つてるうちにも來る三日が節分四日が立春である、節分には花柳界をはじめカフエーなどの假裝變裝で賑ふのを例としてゐる、滿洲事變勃發の翌年はそんな催しは差控へ其筋もまた假裝變裝で外出することを禁じたが今年あたりはどうか、その節分も目睫の間に迫つたので判るところ秘かに趣好を凝してる模樣である、昔は長春座あたりもこの節分には特に活動寫眞のやうな場內の暗いものでなく、芝居とか萬歲とかあかるくて陽氣なものを上場したのでそこをめがけて假裝變裝の連中が押出したので芝居や萬歲よりそのお化けを見やうと犇めきたら大賑を呈した

けさ八時廿分

附屬地に拳銃强盜 三百余圓を强奪逃走

舊正月を控へ又復市內に拳銃强盜出沒し市民を戰慄せしめてゐる……一日午前八時二十分ごろ市內祝町五丁目二番地兩替、質商裕和堂こと羅鋼堂氏方へ四人組の拳銃强盜が押入り居合せた店員四名に拳銃を突付け脅迫しいづれも頭を伏せさせた後、店の間の金庫から國幣百圓、金票百圓、鈔票四十圓、哈大洋八十圓、合計三百二十圓を强奪し逃走した、急報に接した新京署では直に全署員の非常召集を行ひ高山署長指揮の下に倉田司法主任は刑事隊を率ひ現場に急行犯人搜查に努めたが逮捕するにいたらなかつた

滿電バス 又轢く

一日午前八時ごろ市內日本橋南廣場で日本橋通五十四番地東洋　花安間氏令孃靜（一〇）さんが祈町一丁目方面から日本橋通交叉點を通過せんとした際城內から疾走して來た滿電バス三十三年運轉手本間憲二（二七）が激突し大腿部を骨折し瀕死の重傷を負した、被害者は直に滿鐵病院に收容應急手當の結果生命は取止めた

深夜の職場襲擊

一寸の不注意が脫線等惹すので緊張の二字

鐵道の卷……信號手（〇）

凍てついた鐵路が長々と光つてゐる間を步いて行く記者の前方に、靑く光る信號燈が、先輪を放つてゐる、その前で今通つて了つた機關車の行方を見乍ら、辨當箱を片脇に抱へ込んだ信號手が樂しい我家に歸らんとしてゐる

□……□

「寒いですね」

「ハー」

「すみましたか……苦しい仕事ですね」

「エー夜中、吹きざらしの構內で、徹夜したり信號するのは一寸苦しいですね、然し狂ひがあると脫線させたりなどするので責任は重いです」

「もうお歸りですか」

「今から歸つて、朝出と代ります、朝出はもう來てゐるです、一番の用意がありますから」

ここで別れた記者は、白い息を吐き乍ら機關庫へ

□……□

「柿　さんお寒い」

「やあいらつしやい、何事ですか今頃」

「お仕事拜見と云ふところです何か變つた話でもないですか」

「ありませんね、毎日冷い機關車をいぢり廻してゐるだけです」

「掃除だつて大變ですね」

「エー掃除から、滑止めの砂や水を詰込み、火を入れて出る用意をするだけで優に疲れる位の仕事ですよ、それに貨車の連結なぞやつてゐると大變です、全く疲れますよ、然しこれも仕事ですからね」と黑鐵の樣な体をゆすぶつて呵々大笑した

「九日の晩に零下二十九度にも下つたときはひどいでせう」

「とても大變です、列車に乘つてゐる機關手など、前の窓硝子を閉ぢれば曇つて見透しがきかず、開ければ寒く、前で燃えてゐる火の溫みも何もあつたものぢやありません、ここに觸れても冷い鐵ですからね」

「然し貴方方の御苦勞のお陰で皆が安心し旅行されるのですからね」

「機關庫勤務と云ふと、何か職工かなんぞの樣に考へてゐるらしいが、人々にこの苦勞を知つてもらひたいと思つてゐます」

□……□

別れて外に出ると、黑々と幾輛もの機關車が並んでゐる、ドツシリと重々しく並ぶ黑影の下を、記者はかるくなつてコツくと步いた（寫眞は夜の構內に連結の信號をする信號手）

寒さの峠も「もう越えた」

平均氣溫はやゝ低下

本年の寒もやつと峠を越してあと二日すればいよく立春であるが一月中の新京の氣溫は最低が二十四日の零下二十九度四、最高が十八、二十七兩日の各零下四度九、平均十八度九でこれを平年の平均十七度二に比べるとやゝ低目で昨年一月の平均十六度九に比べると二度の何れも低下で本年一月の如く三寒四溫の訪れのなかつたことは近年稀であり一日の氣壓の配置は東蒙古方面に七七六粍、大平洋方面に七六六粍の高氣壓があつて大平洋方面の高氣壓は東方に移動してゐるが蒙古方面の高氣壓は依然滯留の狀態にあるので當分は氣溫にあまり變動はないものとみられてゐる

電報詐欺

市內住吉町二丁目六番地滿洲國監察官中村寧氏の友人武岡嘉一氏が東京に出張中二十六日正午ごろ中村氏宛武岡氏の名儀で東京土橋局留で現金百三十圓を急電報で送附方の電報に接したため中村氏は直に現金を送附したが二十九日武岡氏が歸京し右の旨をただすと武岡氏は全然知らず電報詐欺にかかつたことを知り新京署に搜査方を屆出た、犯行から推して犯人は中村と武岡の事情を充分しつてゐるものと當所と睨み警視廳に手配した原因は目下新京署で取調べ中である

舊正せまり

警備陣積極的 日滿當局が協力

御大典即位式並に舊正月を控へたゝめ市內に不逞團が管外より潛入するを豫想し新京署首部警察廳、新京憲兵隊ではこれが警戒の徹底を明すべく各所から續々應援を求め永も哨、密行、巡羅、騎馬隊に編成し各要所には臨時派遣所を設けることになつた、新京憲兵隊では同樣憲兵百名、憲兵補百名の應援を得て市內外の警戒警護にあたるため東站、南嶺、寬城子に臨時分遣所を設置し諜者を配達し又は要所に檢問所を置くことになつたる大警戒を行ふこととなつた、先ず新京署では一月三十日から二月十三日までを三期に別け全署員を遊動、立

原口家不幸

滿電新京支店長原口純允氏長女芳子（七才）さんは猩紅熱で入院加療中の處養生不叶一日午前二時死去、二日途中行列を廢し祝町太子堂で告別式が執行される

けふの銀相場

鈔票對金票	二七・七〇
現大洋對金票	二二・二九
國幣對金票	二二・六〇
現大洋對鈔票	九五・一〇

全滿かるた大會場 料亭『開花』に決定

來る二月十一日本社主催の下に開催される全滿かるた大會の會場は料亭開花においで開催されることに決定した

慶安異聞 艶魔地獄

（講上演 映畫化） 玉水三郎 （畫）長谷川小信

（百六十二）

怪漢は誰（三）

暴漢が理不盡の襲撃とは言へ、一人を斬殺し二人を傷つけた上は、町奉行所へ訴へ出ねばなるまいと、奧村權之丞は後日の祟りを恐れて、道灌山を跡に南北何れかの奉行所へ行かうとした。

「イヤ待て、今宵月下の亂鬪は、誰一人見た者もなく、彼等は死骸を遺棄して逃走してゐるのだ。それをわざ〳〵訴へ出るにも及ぶまい。然し知らず顔で、打捨て置くは何としても、良心に咎められる……オヽ、好い事がある。丸橋先生へ打明けて、何とか智慧を借りる事に致さう」

心に決した權之丞は、本郷弓町の道場へ來た。

幸ひ丸橋忠彌は在宅であつた。そして直ぐ其居室へ通された。

忠彌は例の剛酒、今宵も相變らず大醉の態で、

「イヤ奧村氏、能く參られた。今晩は又御苦勞千萬」

權之丞は師に對する禮を厚くして、

「ハツ、貴命の趣き早速道灌山へ參り、一統に通じましたれば、即時同所を退散致しました」

「オヽ、左樣であつたか」

「其後は明朝道場に於て、申上げても可い事ながら、途中意外の椿事出來致したるにより、先生へ御相談に參りました」

「ナニ意外の椿事とは」

「五人の暴漢に襲はれ、何れも拔刀にて斬附けましたれば、餘儀なく應戰致し、内一人を斬り即死致させ、二人を傷つけましたるが、殘る四人は遂に逃げ失せました」

それから暴漢の何者なるか知らず、恨みを買ふ如き心當りのない事も附け加へて語つた。

醉眼朦朧の中にも、忠彌はヂッと聞き終つて、

「フーム、若しや道灌山に於ける數回の密議を、覺つたものではあるまいか」

「イエ〳〵左樣な筋の者ではござりますまい……又密議とは申せ、決して良からぬ會合とは違ひ、皇室の式微を憂ふる吾々の……」

「オヽそれに仇する者はない筈。ヘテ不思議」

「曲者の顔は一々檢ためましたが、一人として知る者なく、又彼等は確に浪人者と認めました」

「で、貴殿を奧村權之丞殿と知つての上か」

「如何にも手前の姓名を呼びかけましたが、彼等は一人も名乘りを上げませぬ」

「フーム、先づ捨置かつしやい。何れ後日相判らう」

「捨置かれませぬは、人命を斷ちましたる事ゆゑ……」

「イヤ〳〵師に邪曲あつて、當方に非理なし。知らぬ顔に捨置かつしやい」

「ハツ、先生の御一言に由り、手前も捨置く事に仕ります」

「時に奧村氏、今宵は當家に誰も居らぬ。妻が奧に何か繕ひを致し居るのみゆゑ、憚る所なければ、一の御相談がござる」

「ハツ、御相談とは……」

「貴殿は老中松平伊豆守殿に仕へてゐさつしやるな」

「左樣」

「伊豆殿より以上の御方を、主人にとり直す所存しはないかな」

「何と仰せらるゝ」

「紀州公に御奉公さつしやらぬか、三州吉田の城主とは違ひ、徳川の正統」

「フーム」

一白の人　撓む心を取直し目的の貫徹に努むるが肝要　巳さ辛さ癸が吉

●二黑の人　不安に襲はるゝも屈せず氣を引立つれば吉　庚さ亥さ寅が吉

●三碧の人　好事魔多し謀る所一向に手答へなき不快日　乙さ丙さ癸が吉

●四綠の人　虚言に引入れられ餘儀なき散財を招くべし　巳さ丙さ癸が吉

●五黃の人　萬事の調子狂ひて敗れ狼狽の兆あり守靜吉　辛さ丑さ艮が吉

●六白の人　物事に氣乘少なきも勇氣を振ひて進むべし　庚さ辛さ戊が吉

●七赤の人　進歩發達の幸運日　起業開店商談事何れも吉　亥さ癸さ寅が吉

●八白の人　活動力鈍るも愼重なれば功果擧る病厄注意　丁さ庚さ辛が吉

●九紫の人　運氣次第に良轉して輕快味を加ふ努力に吉　乙さ丁さ寅が吉

二月二日　金曜　甲辰　赤口　平　鬼宿　二十二月二十七日

大阪商船

門司、神戸（大阪）行
×三等船客設備船（午前十時大連出帆）

×たこま丸	二月　三日
香港丸	二月　四日
うすりい丸	二月　六日
ばいかる丸	二月　八日
亞米利加丸	二月　十日
はるびん丸	二月十二日
うらる丸	月　日
×しあとる丸	月　日

●切符發賣所

鐵道省線主要各驛及各地ジャパンツーリストビユーロー

一案内所
船車連絡切符（往復切符ハ汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃一割引通用期間三ケ月）

●専屬荷扱所
各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社
大連支店　電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話二二一六

新京日日新聞社
營業部
電三三〇〇番

純お江戸料理
食道樂
花本
永樂町二丁目一番地
電話四七八五番

鰻

ホホの落そうな……「とゞろき」の調理方!!

ウナギ、蒲燒、ウナタマ丼
其の他川魚料理一切
博多鍋料理
鯛茶

食道樂 **とゞろき**
新京朝日通日本橋畔
電話三三九三六番 二三七二番

新京にも
「東氣分の……」
嬉野へ!!
一度お越しを願ひます
三笠町二丁目
料亭 **嬉野**
電話三八三〇番

見よ未曾有の壯觀空前の豪壯篇▷

同胞よ!!

日本の太平洋に對する認識を深め護れ我等が海の生命線!!
米蘇怖るゝに足らず見よ海の日本の威力我が假裝敵國は何處?
更に問ふ來たるべき世界の大戰場はいづこ?
日本人全部が見るべき國家的映畫の今銳を逃す勿れ
一九三六年怖るゝに足らず

新京キネマ豪華篇!!

敵は太平洋

特ルナヨシナーァーワ
●全發聲日本版●
タイガーシャーク（虎鮫）
エドワード・ロビンソン・リチャード・アーレン主演

怒濤く太洋の眞只中に餓へる虎鮫さ人間の死の爭闘だ決死的な冒險撮影は感激さ昂奮の頂

三、四、五、六、四日間公開
新京日日新聞社後援讀者優待

見よ!!壯烈なる空中戰!!
豪快を極むる大海戰
更に波瀾重々たるスパイ戰

新京キネマ

内科　小兒科
性病　痔疾科
アヘン、モヒ
ヘロイン中毒
松本醫院
入院隨意
隨時往診應需
日本橋通郵便局前
電話三七五六番

專門店
半ゑり
化粧品
婦人用品
新京日本座前
㋕商店
電話二九三〇番

唸を生じて大評判
不況を外に大發展
鰻かば燒トどんぶり
三笠町二丁目
御壽し 仕出し
食道樂 **青葉**
電話二九四二番

皮膚、泌尿科
外科、性病科
同仁醫院
富士町二　電話二六〇六番
診療（自午前九時至午後五時）日曜祭日午前中

羅紗　裏地　卸商
其他洋服附屬品一切
新京日本橋通廿五番地
加藤洋行新京支店
電話三七三一番

花も實もある……
朗らかなホール!
▲美人揃ひのウエータ連のサービス振りを御覽下さい▼
三笠町二丁目
カフエーライオン
電話二三七九番

大飛躍セル富士屋タクシー
亦又新車數輛入リマシタ
皆樣ノ足トシテ奉仕スル富士屋タクシー新車揃ヒデ日本内地人ガ晝夜兼行待機ノ姿勢デ御待チシテ居リマス
新京蓬萊町一丁目十番地
富士屋旅館直營
富士屋タクシー
電話四九一九 二〇九七番

一、自動車ノ修理ニ應ジマス（特ニ新機械機具専門）
富士屋自動車修理工場
工場長　米川清藏
電話二四九〇四九 九七番

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

發行所 新京日日新聞社 新京永樂町三丁目一番地

現有比率主義は國際關係を惡化す

打破を目標にわが海軍當局 第二次軍縮準備

（東京國通）芳澤謙吉氏の質問を中心として第二次軍縮に國民の注意が掛けられて居るが、海軍當局は左の見解から現有比率打破の用意を進めて居る

一、比率主義はワシントン會議當時ヒユーズ全權が現有勢力で保有量を決定する爲案出せるものに恒久的且つ不變性なし

一、比率主義は國際平和に貢獻せず有勢國では有勢を維持せんとし、劣勢國は條約限度の建艦をなし國際關係を却つて惡化す

との見地から日本は斷然比率の打破を以て次期軍縮に臨む譯だが如何なる代案を提出するかは注目されてゐる

日ソ間は平和

米ソ結んで日本に當るなど妄想も甚だしい

駐米ソ大使語る

（ワシントン卅一日發國通）駐ソ聯大使トロヤノフスキー氏は最近當地に於て日ソ關係に關し左の如き感想を洩した

日ソ關係の緊張せることが斯く迄米國朝野の間に印象せられ居る事は赴任する迄私は知らなかつた、私も日本に永年關係を有してゐた爲お世辭でなく眞に日本に友誼を感じ、國交緊張等の惑を懷た事はない、況んや米ソ國交回復に依つて兩國結んで日本に當らん等の考へは滑稽な妄想である、現在の日ソ間の諸問題は特別の事態發生せぬ限り平和裡に解決し得べしと私は確信する、故にアラーミングな報道を基礎とする日ソ關係にする米國記者の質問には答へる氣にもならぬ

青年共產黨が日ソ問題審議

哈爾賓で代表會議

全ソ共產黨員第十七回大會は目下モスクワに於て開催されてゐるが在滿ソ聯共產黨員等はこれに對應し、來る二月二日ハルビンに全國青年共產黨代表會議を召集し日ソ問題を主とする外交問題及び第二次五ヶ年案の成績を中心にソ聯邦內政諸問題等を審議するものと觀られてゐる、尙寬城子よりは黨員十八名が同會議に列席する筈である

沈瑞麟氏が府中令に決定

滿洲國で正式發令

一時駐日公使に擬せられてゐた北鐵首席理事沈瑞麟氏は三十一日附で府中令（特任）に任命された、氏は浙江省吳興縣の出身で一八七四年生れ、清朝の末年駐獨代理公使、外交部參事を經て奧國公使となり一九二〇年外交部和約研究會副會長一九二二年外交部次長、一九二五年外交總長、關稅會議委員長となり次いで一九二七年の潘復內閣では內務總長、張作霖の沒後は奉天派の外交顧問、一九三〇年に北鐵の首席理事に就任して今日に至つた人である（寫眞は沈氏）

北鐵理事後任

愼重詮衡中

府中令として執政府入りした前北鐵理事沈瑞麟氏の後任に關しては交通部當局は北鐵問題紛爭の頃から最も愼重な態度を持し後任の詮衡を行つてゐる

新疆省の動亂

近く鎭靜せん

當地某所への情報によると新疆省の動亂は、その後盛世才軍優勢となり、馬仲英軍及張將軍の部下は各所に於て擊破され伊犁の張軍部下はクールジヤ要塞で反亂を起し、聯隊長は射殺されて四散し、馬仲英の迪化進擊も不能となつた、又チユガチヤクに進擊中であつた張軍の部下千名は盛軍に降伏し盛軍は伊犁に部隊を集結中で、日ならずして新疆省の動亂も終話するものと觀られてゐる

滿洲國の實情調査に

于學忠六名の密偵を派遣か

（天津卅一日發國通）當地某所著情報によれば最近于學忠は今後の對滿政策決定のため帝制實施を目前に控へた滿洲國の實情を調査すべく六名の特命密偵を新京、奉天に潛入せしめたと言はれる

中銀週報

自大同三年一月二十一日
至同年一月二十七日

項目	金額
紙幣發行額	一三六、三七一、六二一、四〇三
準備	六六、九三九、二〇七、三三
保證	七〇、三四二、三六三、九三
銅幣發行額	一一、二八六、五三七、一四

出超の奇現象を呈した一月下旬貿易

永續的なものでない

（東京國通）一月下旬貿易は輸入最盛期にも拘らず九百十七萬七千圓の出超を示し本邦貿易史上未だ嘗て見ざる奇現象を呈した、これが主因は生糸及び綿布輸出の激增と棉花輸入が印棉不買解除によつて從來米棉のみを主としたものが

『印棉』に買ひ向はれ、現在は丁度その轉換期となり二月中旬印棉が日本に到着する時期まで棉化輸入量が尚一旬三十萬ピクル見當の少量に終始してゐるためである、生糸輸出の激增は昨年末の六百圓臺割れ當時思惑的に買ひ付けられたものが今旬となり一時に出荷されたもので、これを以て米國に於ける實需が增加したとは勿論見ることが出來ないから今後此の調子の持續は至難である、今旬の綿糸輸出一千六百餘萬圓も過去に記錄を求めることの出來ない

『最高』記錄であるが、これ亦日印會商成立によつて印度側のストツク現象を埋め合せるために行はれた一時的な現象である、現在の輸入期節に再び出超を繰返すが如きことは恐らくないだらう

日英會商代表

島田勝之助氏

（大阪國通）日本人絹輸出組合聯合會では三十一日午後緊急理事會を開催、日英會商に於ける人絹代表人選に就き愼重協議の結果三井物產ロンドン支店長島田勝之助氏に正式代表權を附與する事に決した

市場混亂未曾有の爲替戰を惹起

平價切下の將來について 大藏當局頗る憂慮

（東京國通）米國の平價切下げ率四割一分弱と決定したるに對し我大藏當局は左の如き觀測を下して國際爲替市場は近き將來未曾有の大混亂に陷り、猛烈なる爲替戰爭を惹起するであらうと前途を憂慮してゐる

米國の平價切下げ率は一般に豫定されてゐたところであるが、問題は弗價の安定といふことが如何なる經濟的效果を伴ふかの點である 即ち

『弗價』を何處迄切下げるか分らぬといふ不安は切下率の決定によつて一掃され、從つて此意味に於る金本位ブロツク諸國の危機は解消し國際爲替市場全般の不安も鎭靜すべき順序である、而しながら弗價の安定の結果不安時代に國外へ逃走してゐた弗貨がどんどん歸還する上に、弗貨が世界の最も安全な貨幣となつたのだからポンド、フラン其他の資金が何れも安住地を目指して猛然として弗貨に換へられることゝなり、斯くして金が米國の集中資金の偏在傾向は益々激化せられることになり金本位國擧げて其の離脱を余儀なくせしめ其

『結果』は弗貨の對外價値を益々引上げ米國の平價切下の目的を沒却することゝなろう、之を要するに國際爲替市場を擧げて弗と磅の爲替戰爭に迄發展する事必然である、斯くの如くして國際爲替市場は非常な混亂に陷るが、其根本原因は米國の國力を無視せる無理な平價の引下げによるものであるから、之を解決するためには各國が弗を目標に其の平價を適當なところ迄引下げねば結末がつかぬであらう我國への影響は前途を見極めることが困難だから暫く推移を見るの外はないが、かくの如き

『國際』爲替戰爭に於る圓の地位は云ふに足らない、從つて日本が圓の立場から爲替人爲策をとつて見ても如何とも致し難い事である、たゞ金の國內保有政策は之に依て促進される事であらう

弗平價切下再評價

米國政府發表

（ワシントン卅一日發國通）米國政府公式發表に依れば、米國政府は弗平價を純金重量の五九、〇六パーセントと再評價したものである

各縣下に公醫

規則公布さる

既報滿洲國では醫療救護のため各縣に公醫を設置することゝなり三十一日附でこれが規則を公布したが公醫は民政部總長から配置された地に居住して傳染病の預防、地方病の調査、種痘、學校衛生、檢死檢體、行旅病者及貧民患者の施療衛生及醫事統計等に關することを行ふことゝなつてゐる

農村問題で決議案上程か

各派の歩調完全に一致し 政府重大化を憂慮

（東京國通）議會の中心は農村問題に集中され、米穀政策失敗、蠶絲施設の不備時局匡救の削減等に論難熾烈で場合に依つては各派一致し決議案上程に進む形勢故政府では重大化するを憂慮し、農林省追加豫算を出來るだけ增加し、米穀對策、農業土木、肥料、蠶絲業も出來るだけ各派の要望を容れ善處すべく高橋藏相の登院を俟つて協議善後策を講ずることゝなつ

八年度米作は有史以來の事

米穀問題益々多難

（東京聯盟）農林省發表の昭和八年產米實收高は既報の通り七千萬石を突破し總數に於ても段當り收穫量に於ても有史以來の新記錄を出したが、之を基礎に本米穀年度に於ける需給推算を行へば千八百八十萬七千石の供給過剩となり理想持越しの五百萬石を差引いても、なほ實に千三百八十萬石の眞の過剩米を生ずることゝなり米穀問題の前途ますます多難なるを示してゐる

可及的速かに事業を始める

計器公司總會終る

滿洲國度量衡法の制定に伴ひ設立せらるべき滿洲計器股份有限公司發起人會は既報の通り二十九日より三日間新京東亞產業協會に於て開催せられ發起人は日本內地、關東州、滿洲國より二十名出席し工商司長議長の下に

一、定款の審議
二、株式割當に關する件
三、創立費支途承認に關する件
四、重役選任に關する件

其他公司設立に關する事項を議了したが同公司の資本總額は國幣百五十萬圓にて株式は滿洲側一萬五千株日本側（關東州及沿線を含む）一萬五千株合計三萬株、第一拂込は二分の一拂込となし總會は三月二十六日に開き可及的速かに事業を開始することゝなつてゐる

滿人青年將校募集

軍政部では國軍の擴充並に軍隊の改善を目的とし、左記規定に基き優秀なる滿洲國人將校を養成すべく全滿に亘り目下募集中である

一、資格
イ、滿洲國人に限る
ロ、中等學校卒業者又は同等以上の學歷を有するもの
ハ、十八才以上二十三才以下
ニ、現役兵にして中等學校卒業程度以上の學歷を有するものは年齡三十才以下のものにて可
二、敎育 六月一日より中央直轄の吉林、奉天、チチハル所在陸軍第一第二第三各敎導學校に收容し軍官候補生の基本敎育を爲す
三、募集人員 軍官候補生七十名
申込期日 六月十日まで
五、体格檢査四月二十七日より二十九日迄

大同二年度吉林省匪賊の消長

（吉林國通）匪賊と言へば吉林、吉林といへば匪賊を連想する程左樣に匪賊跳梁の地であつた吉林も日滿兩軍數次の大討匪工作により著名の匪團は悉く潰滅分散し現在では數名乃至數十名宛潛行的に出沒してゐる鼠賊類と東部國境方面に餘命を保つ共匪及び北部各縣に巢喰ふ煙匪を殘すのみとなつたが之等も今回の大討匪工作により遠からず完全に影を沒するに至るべく期待されてゐるが、茲に昨年大同二年中吉林省匪賊の消長を示す興味ある統計がある

△警備司令部調査

月	匪數
一月	一四、〇〇〇
二月	一四、一〇〇
三月	二五、一〇〇
四月	四〇、二〇〇
五月	四七、八五〇
六月	四八、二〇〇
七月	三五、〇〇〇
八月	二一、〇〇〇
九月	二〇、〇〇〇
十月	一四、三〇〇
十一月	九、七四〇
十二月	六、三〇〇

これによれば五月、六月の繁茂期に四萬七八千を數へられたものが八月、九月の跳梁期に二萬に激減したるは明かに討匪工作の收穫を物語るものであり、十二月の六千三百はその年一月の一萬四千に比して半數以下の減少であり、現在大同三年一月の匪賊數は推して知るべく、しかも今回の大討匪工作により共匪煙匪の集團匪が殲滅されるに至れば他の群小鼠賊の類は王道仁政の陽光の前に蠢動の餘地なく自然解消の一途をたどるに至るであらうと期待されてゐる

列車顚覆犯人

大龍匪の一味逮捕さる

（吉林國通）省警察廳では過般日系官吏十數名が入り

『中心』となつて省城の治安確保に努め、特にこの大典を控へ、舊年末に當りては省城の內外水も洩らさぬ警戒陣を張り匪賊や不逞分子の蠢動に備へ、市民の期待の的になつてゐるが、過日北極門外に於て警備網にかゝりたる擧動不審の一滿人を捕へ嚴重訊問の結果、昭和七年九月五日新京發吉林行列車が午後九時頃吉林に近い哈達灣驛附近を進行中これを脫線顚覆せしめ「日本人は片ッ端から虐殺しろ」と叫びながら邦人乘客四名を殺傷した匪賊大龍の一味魏煥（四三）なることを判明したので尚も猛烈に追及したところ彼は暴虐烈鬼にも等しい大龍匪の中でも最も獰猛性を發揮し副頭目格に推され、その日の列車襲擊も彼の計畫によりレールをはずして敢行されたものであり、邦人三名に瀕死の重傷を與へ、一名高井夏子（二五）を慘殺したのも彼自身であることを自白し、更に一味四名と共に省城を擾亂した上戰慄に價する或種の計畫をめぐらして潛入したる事が判明、疾風迅雷的にその

『巢窟』たる西關の一旅館を包圍、大格鬪の上一味悉く逮捕したので、吉林近來の大捕物として省警察廳の殊動がたゝへられてゐる

大典當日に各地襲擊陰謀

反滿分子潛入か

反滿抗日を諦め得ぬ敗將馬占山、王德林、唐聚五はかねてより滿洲國內軍隊匪賊を煽動して、來る三月一日を期して反亂せしめんと、腹臣の部下を密に入滿せしめてゐたが、最近彼等は、匪首天元、老海子、老北風の下に走り、來三月一日御大典當日、新京及沿線主要都市襲擊の打合せをなし、既に一部の部下は新京にも潛入した模樣で日滿軍憲では彼等の逮捕侵入の防止に必死となつてゐるが、決死逮捕されるものか約半數あり探合と警戒に大童となつてゐる

人事往來

▲島田五十夫氏 前建設局廳舍から梅ケ枝町三丁目六番地へ
▲安藤吉氏 入船町四丁目十三番地から國務院 安總署へ

天氣と氣温

けふの天氣は北西の風雲模樣
昨日の氣温 最高零下九度八、最低零下一九度一

日滿聯合で大典奉祝準備

いよ〳〵聯合委員會を設置 三日初の會議開く

かねてから準備中であつた日滿聯合奉祝委員會委員にはこの程左の諸氏が決定され三日午前十時から新京特別市政公署會議室で第一回委員會が開催されることになつた、

委員長　金市長
副委員長　荒木地方事務所長
委員　高山新京署長
同　附屬地憲兵分隊長
同　大原地方委員長
同　石崎商議會頭
同　星城内憲兵分隊長
同　田中居留民會長
同　川崎情報處長
同　山口協和會理事
同　修首都警察廳總監
同　王自治委員會長

なほ協議事項は左の通りである

一、式典
三月一日（時刻は追て決定）於大同廣場
（1）參列者に於する案内及當日の式主催、接待等
（2）學校生徒參加の手配
イ、新京市内學校
ロ、附屬地學校
（3）式場一帶の取締及警戒（式場内の狀況は別圖の如し）
憲兵隊、憲兵司令部、首都警察廳

二、街上裝飾
二月二十八日前に完了
市内各所
（1）奉祝門の建設及電飾
イ、滿洲國内　奉祝門を左の六ケ所に設く、新築軍司令部横、大經路入口、國務院裏興運路、執政府興運橋前、南大街、牌樓を左の三ケ所に設く、大馬路と三馬路との交叉點、大馬路と四道街との交叉點、大經路と三道街との交叉點、電飾、國務總理及市長公館、高塔照明、民政部前消防隊火見塔を電飾す
ロ、附屬地内　驛前高塔の電飾の外出來得れば附屬地内に一、二ケ所の奉祝門施設願度

二、街旗
イ、國旗掲揚（三月一日、二日）
滿洲國内　全市に國旗掲揚方を通達す、市外は縣公署より全縣に通達すること寛城子は寛城子商務會より通達のこと
附屬地　附屬地内は日滿國旗（何れにても可）の掲揚方を通達すること
ロ、大馬路裝飾
市内大馬路街燈に小滿旗を交叉裝飾す
（3）馬車、洋車、自動車の裝飾

三、餘興
三月一、二日秧歌、市内各所高脚、龍灯、龍鳳船、獅子、電影、假裝行列及屋臺花火

三、地方賜餐
三月二日、同三日、於市内支那料理店、地方賜餐は一切市公署にて擔當するも賜餐者の調査には地方事務所縣公署、商務會方面の助力を願ふこと

帝政を喜んで ある日本人から國防獻金

はる〴〵時計を贈る 鄭總理の感激

去る二十日滿洲國が帝制實施を聲明して以來滿洲國民は勿論多數の日本人からも感激に滿ちた手紙が每日數十通から鄭國務總理の許に送られてゐるが三十一日大阪府民元海軍一等兵曹某として

「貴國が帝制を實施されることは貴國民同樣私も喜ばしい、建國まだ日が淺くそれに建國前の惡政によつて貴國はかなり疲弊してをり國防建設の資金も充分獻金する人がないと思はれますので別送の時計は實につまらないものですが、私の現在の持ちものではこれが一番高價な財產でありますから御手數をかけてすみませんがこれを賣却して國建資金の一端に加へて下さい」

といふ意味の手紙に金側懷中時計（エンパイヤ）を一個送つて來たので鄭總理は大いに感激して目下この發送者を大阪府に紹介調査中である

列車ホテル設置を申込む

旅館は極度に拂底

三月一日の御大典には滿洲國側の調査によると少くとも各地から新京に集まる日滿要人が千五百名を越える見當である、然し現在新京の旅館では千五百名の部屋しかなく、その中千名は現に使用中で後五百しかあき間がない勘定なので頭を痛めた滿洲國では應急補充策として新京鐵道事務所に列車ホテルの設備を申込んだ、なほ自動車も現在の自動車數ではとても間に合はぬので已むを得ず馬車で間に合せるかそれとも奉天、大連方面から借用するか、新京鐵道事務所でも考究中である

列車運行の研究

近く協議會

最近未熟社員の增加その他の理由で著しく列車運行の圓滑を缺いでゐる關係ではこれが圓滑運轉促進の研究、協議のため來る三、四、五の三日間鐵道部主催で各鐵道事務所機關區列車區から數名の出席者を出して會議する　新京からも鰺川事務係始め列車、機關の擔當者が出席の豫定

バス廣告員 詐欺的の行爲

警察で眼を光らす

新京特別市政公署では既報の如く滿洲國官吏通勤の便を圖るため國務院中央銀行その他各部の出資で大型バス九台を管理し午前八時から十時まで同午後四時から六時まで南廣場驛前を起點として日本橋通中央通を通過して中央銀行新廳舍に向け運轉をなし一般の乘客をも許してゐたにかゝはらず同バス部で許可してゐる

バス廣告部員は附屬地城内の商店から市管理バスが市内を縱橫無盡に運轉してゐる如くに言ひふらし廣告の申込を受けてゐるため市民は本當と信じ廣告を申込でゐるが何等效果がなく非常な迷惑を蒙つてゐる、新京署保安係首都警察廳保安係はかゝる詐欺的行爲をなすものは徹底的取締る一方特市にも嚴重通知した

接客業者健診

附屬地内の接客業者の健康診斷は新京消防隊で一日から行はれたが初日は約六百名の診斷があつたなほ引續いて十日まで約六千名の接客業者の健康診斷をする豫定

執政、侍從武官を北滿に派遣

日滿傷病兵を慰問

滿洲國建國の犧牲となつた日滿軍將士に深く同情を寄せらるゝ溥執政は金、趙兩侍從武官を名代として北滿各地に派遣し、親しく傷病兵を慰問せらるることとなつた、金武官は一日午前九時發列車で四平街經由チチハルに向つたが、趙武官は十二日出發の豫定である

自宅から『もしく』日本内地へ直接通話

近く無線電話裝置完成後 多分四月頃に實現

昨年來滿洲電信電話會社により新京に工事中の對日本無線電話裝置は近く完成を見る事になつた、右裝置は寬城子送信所の空中線電力廿キロワット短波無線電話送信裝置と孟家屯受信所のダイバシチー式スーパーヘテロダイン受信裝置及び『新京』中央電話局内の有線無線連絡裝置とより成り、送信機を除いては既に完成して二月初めから日本よりの電話電波を受信試驗する豫定であるなほ三月一日から擧行される滿洲國御大典に際しては無線電話裝置を利用して御大典の模樣を現場より中繼し、日本は勿論英米兩國の各放送局からも中繼放送せられる豫定で前記の寬城子送信所では目下晝夜兼行工事を急いでゐる、此の無線電話裝置が完成すれば、多分四月頃から大連、奉天及新京等の電話加入者と日本各地の電話加入者とは自宅から直接『通話』出來ることになるといふことである、因に此の無線電話裝置は特許の秘密通話法が應用せられてゐるので、通話の内容を他の受信機で傍受することは不可能であるから安心して通話出來るといふ

奉天驛改札制實施

初日から好成績

〔奉天國通〕奉天驛は開設以來開放制度を採つてゐたが愈よ今一日より改札制度を實施する事となつた、未だ今日は初めてといふのに來客はキチンと整列して先を競ふ樣な者は一人もない、改札係の使ふ鋏と共にお客が次々に順序よくホームに繰出される樣は實に立派なものだ、係員の眉宇には流石に張り切つた緊張の色があり〳〵と見える、この分では奉天驛の改札は一旬を待たずして他に比べて少しも遜色のないものとなろう

戀の勝美夫人 愈よ裁きの日

傍聽者が殺到して 大連法廷大混雜

〔大連國通〕獵奇的事件として一世を聳動せしめた中薗秀男に係る殺人死體遺棄傷害殺人及び外罪、藤森勝美に係る殺人豫備死體遺棄證據イン滅等情痴罪を裁く公判開廷の日大連市民は限られた三百五十枚の傍聽券を獲得せんと三十一日夜十時法院には早くも

『傍聽』者が詰めかけて法院構内に一夜を明かし一日午前四時には待ち構へた市民一時に殺到瞬く間に傍聽席は立錐の餘地なく滿員となり公判開廷を待つ、斯くて午前九時四十分川崚裁判長は髙井檢察官、平井、田中兩陪席判官を從へて入廷着席、被告中薗秀男（三六）藤森勝美（二九）は看守に守られ編笠、手錠姿の中薗を先に入廷、中薗は鼠色背廣にネクタイ無しの姿、勝美は大島の袷に黑の羽織、顏面は昂奮に紅色を呈し白粉氣のない頸はさしたるやつれも見せず茲に高野以來の二人は初めて顏を合せた、午前九時四十五分裁判長は兩名の身許調べの後審理に入る旨を宣すると高井檢察官は立つて起訴理由を述べ佐藤三輪子を通じ

『中園』と知合になつた顚末を述べ更に連鎖街丸北喫茶店で青柳貢を紹介され情交關係を結び各處に於て情痴の限りを盡しつゝあるうち歐洲航路より歸りたる中薗がこの事實を知るや極度に憤慨し青柳及び佐藤三輪子を殺害せんと決心し殺害用のバフト短刀を勝美が中薗に預け九月五日午後九時四十分頃兒玉博士邸に青柳を伴つて赴き、途に青柳を殺害、次で博士と協力死体を土佐町横山きみ方床下土中に遺棄したものであることを、二十分間に亙つて述べ此の間中薗は頻りに落淚先づ勝美の審理に入り正午一旦休憩した後一時再開、勝美が小平島に於て中薗と

『密會』した所から開始

被　小平島の海水浴場の附近に行きましたが此時はもう川崎でないといふことは解つてゐました、此の時私は中薗と結婚の約束を致しました

と述べるや、裁判長は

裁　被告は人妻であることを忘れたか、中薗の要求に負けたとだけではわからない其時博士のことを忘れてゐたのか

と鋭く突ッ込れ勝美はかすかに「ハイ」と答へてうつむき更に語を續けた

チキン物三種 値上げに決定

其他は以前のまゝ

新京カフエー組合では既報の如く新京署保安係へ十四種類の洋食飲物洋酒の値下方を陳情してゐたが同係で嚴重調査の結果、チキン物三種の値上を許可し他の十一種類はいづれも拒絕された、チキン物の値上理由は材料である鷄肉が現在非常に上つてゐる關係である

貧氏救濟

新京署で調査

新京署保安係では舊正月を控へまた〳〵貧民を調査し救濟することに乘出した

臨時種痘宣傳

消防隊が大馬力で きのふ市内をぐる〳〵

新京消防隊では別項の通り種痘を施行して天然痘猖獗を未然に防ぐべく萬全を期してゐるが、更に一日午後二時から自動車一台を繰り出して市内に臨時種痘の宣傳ビラを撒布して市民の豫防種痘を促した

開業醫でも種痘

去る二十二日から新京消防隊で施行された無料種痘は三十一日までに一萬二千七百の多數に上つてゐるが未だ種痘洩れのある向きがあるので同隊は十日まで引續き祝町消防隊で施行することゝなりなほ消防隊の外に市内開業醫二十數軒でも種痘をやつてゐるからこの方で約三千は種痘してゐると

出生

▲吉野町一丁目八番地瀧川登氏長女操さん二十四日出生

▲曙町二丁目二十四番地中原中央氏長男平八郎さん二十五日出生

▲曙町一丁目十三番地麻野井祐友氏長女弘子さん二十八日出生

▲日本橋通六十九番地水島隆一氏長女清子さん十二日

居住消息

▲北川悦三氏（滋賀縣）八島通り三十六番地へ

▲藤岡繁一氏（山口縣）高砂町三丁目發電所へ

▲杉山勇三氏（大阪府）老松町一丁目三番地

▲栗山榮藏氏露月町二丁目三十四號へ

▲兒玉正毅氏（[illegible]縣）錦町二丁目十號へ

▲篠原榮氏（愛媛縣）彌生町一丁目二番地へ

轉居

▲井上村太郎氏　東五條通りから永樂町三丁目六十六番地へ

▲松本庫三氏　室町四丁目四番地から梅ケ枝町三丁目新那ビルへ

本社主催 全滿かるた大會は近づく

かるた大會にはお馴染の『開花』

進んで會場の提供方を申出 思切つて此の美擧

全滿かるたファンの血を湧かし一日千秋の思ひで待望されてゐる本社主催の全滿かるた大會はいよ〳〵二月十一日午後一時から開催されることになつたが、これが適當な會場については本社でもひそかに心配中のところ、卅一日新京

『第一』流中の最一流料亭として從來かるた大會にはお馴染深い料亭開花では全滿かるた界のため多大の犧牲を忍んで當日全滿かるた大會會場として同料亭大廣間を進んで開放したき旨の申入れがあり、主催者の本社側でも思ひがけぬこの美擧に欣然これをお受けして當日會場として使用することになつた、同料亭大廣間は誰も知る數ある新京料亭中最も大きく、また立派なものであり日本古來のかるた遊戯の全滿的大會場として最もふさはしく、過去長春かるた界

『全盛』時代にも每年ここで開催されてゐたもので同家では「かるた意義あり、また因緣深きかるた大會を恒例によつて本料亭で催されることは當方としてはこの上なき光榮の至りである」となし、料亭全盛時代しかも紀元節の一日を終日他に使用されることは大きな痛手ではあるが、思ひ切つて大英斷を以てこの義俠に出でられたものである

どんな素人の方でも面白く參加が出來る

一等から五等まで賞品を授與

本社主催の全滿かるた大會もいよ〳〵あと旬日に迫つて來たので、これが大會準備のため三十日午後六時から地方事務所内階下食堂で幹事會を開き地方事務所から野村社會主事も特に參加して會場決定、當日の會場準備その他に關し

『種々』打合せするところあり

なほ當日の競技についてはなるべく老若男女を問はず各階級を網羅して眞に大衆的のものとすべく、甲、乙、丙、丁の四階級および婦人の參加數如何によつて婦人部をも設けることゝしたが、これによつて最もかるた競技に自信あるものは甲組を選び以下乙、丙丁と順次各自の技倆によつて區分しどんな素人でも參加差支なく面白く競技に參加出來ることゝした、これはかるた競技をなるべく一般的に普及し大衆的の競技たらしめやうといふ趣旨にほかならず、ズブ素人はズブ素人同志で

『覇權』を爭ひ各等いづれも一等から五等までそれ〳〵賞品が授與されることになるので當日の申込みは一層多くなる見込である、なほ當日の會場は別項の如く料亭「開花」に決定したが場所柄といひ全くあつらへ向きのものであり華かな大會に一層の拍車をかけて當日の盛況はさこそと肯かれ一層の人氣を呼んでゐる

まづトップに賞品寄贈申出

東一條大山木廠が 大會の趣旨に共鳴して

來る二月十一日本社主催の下に開催される全滿かるた大會は全新京かるた界は勿論滿鐵各地沿線にも亘つて異常な人氣を博し到るところ共鳴者が續出し或は直接本社に向けまた熱淚溢るるばかりの感激の投書を本社編輯部に寄せるなどの熱心者もあり主催者たる本社でもこの意外の聲援に準備萬端遺憾なきを期してゐるが卅日市内東一條材木商大山木廠では全滿かるた大會の意義に深く共鳴し當日への賞品として進んで立派な『ラクダ毛布』の寄贈方申出があり、本社でもこれを快く受けることとし、寄贈者の御意志を尊重し當日適當な勝者にこれを賞品として授與することになつた

公學校新卒業生の就職戰線繁昌

時節柄日本語修得のお蔭 上級校志望も多い

卒業期を目睫に控えて各學校とも或ひは就職に、或ひは上級學校に入學それ〴〵死力を盡して奮鬪し可弱い生徒兒童の胸を痛めてゐるが、時節柄日語を教授する新京公學校卒業生の需要が多く、三月高級二年卒業生男兒六十二名、女兒二十二名、合計八十四名だがそのうち就職決定した者が中銀の八名を筆頭に男二十二名、女一名、合計二十三名五割強の就職決定、上級學校志望者は男二十七名、女三名計三十名で三割六分殘り一割強が未定である、なほ就職決定數内譯は次の通り

財政部三、文教部二、中央銀行八、國務院、滿鐵販賣所、消費組合、電話局、滿鮮運輸、鮮銀、興安寮、各一、首都警察二、交換手一

上級學校希望者

南滿中學堂十七、旅順高等公學校中學部三、日本側中學七、旅順女子師範學堂女子部一である

國境

アムール事情 (四)

二、蘇聯邦沿岸の状況

一九三〇年以來蘇聯邦は第二次五ヶ年計畫の重點は極東地方の指向せらるべしと稱し同年十二月には極東地方開發計畫を發表宣傳し事實又極東開發の爲に相當の努力を拂ひつつある。而し乍ら之に諸支給爭に依りて對岸滿洲側との交易を不可能にし更に其五ヶ年計畫なるものは徹頭徹尾僞瞞と彈壓によつて強行せられ其犧牲として惡辣なる搾取と極度の物資缺乏に民の疲弊其極に達し、全く生色なしと言ふも過言でない。沿岸航行に方りて武市よりストレルカ間の三十餘部落を觀るに村落の疲弊民衆の困窮狀態は敢て住民の直話に據らざるも明瞭に看取される、今其狀況を簡單に列擧すれば

一、全部落を通じ革命以後建築せられたりと思はるゝ木造家屋は僅かにゲ、ペ、ウの兵舍及コルホーズ（共營若くは集團農業）の建物數棟に過ぎず

二、各部落の民家の軒は傾き屋根破れ窓硝子無く、部落の三分の一は廢屋にして住民疎らなり

三、民衆の服裝の如き哈爾賓の乞食以下なり、上流沿岸に於ては既に冬なるも兒童にして靴を穿つもの極めて稀れにして八〇%は裸足なり

四、河岸に現るゝ兒童何れも營養不足、發育不良にして中には饑饉地の兒童の標本かと思はれる非道いのがある

五、アムール州一帶は牧畜林業地帶なるに不拘沿岸地方には殆んど馬牛豚等の家畜及犬の群れを見ず

六、目下强制勞働者を沿岸森林地帶に入れ伐木中であるが、伐木運搬に從事するものは牛馬に牽かせず自ら搬出するもの多し

以上は單に航行中に瞥見せるに止るが、若し上陸して更に詳しく實地を踏査したら蓋し想像外の慘憺に目を蔽はざるを得ぬであらう

三、蘇聯邦の不法行爲

滿洲國成立以來黑龍江上流地方に於て蘇聯人不法に越境し滿人に對して或は暴行を或は掠奪を更に又殺傷等の事に出でし事既に十數件を數ふべく等しく公憤を感ぜざるを得ざる所であるが、今其原因及目的と判斷さるゝものを擧ぐれば左の通りである

一、蘇聯內の極度の物資缺乏に基因し、暴動化せる官民の食糧品其他の掠奪

二、物資の掠奪及犯行隱蔽の爲の殺人暴行

三、掠奪殺人等の犯行隱蔽の爲の放火

四、日滿特に日本勢力の沿邊進出を妨害する爲の放火（滿洲國人の談に依れば對岸蘇聯人は日本人の進出を怖れ、日本人の來る能はざるが爲に部落を燒拂ふと廣言しつつありと言ふ）

五、滿人部落は日滿軍の軍事行動の據點たり得るが爲之を燒拂ふ

右に依る時は蘇聯官民の不法行爲は對日滿恐怖觀念より官憲自体が兇暴化せる證左である。且つ近時頻に蘇聯が其國境に兵力を充實せしめつゝある如き全く冷靜を缺くものと言ふべきであらう。大同元年より、最近に至る迄の當地方に於ける蘇聯邦の不法行爲を列擧すれば左の通りである

一、大同二年一月九日夜蘇聯コルサコフ村より對岸部落（呼瑪縣八十里甸子）の農家を襲ひし十數名の蘇聯人滿人六名を射殺し家屋十五棟を燒き掠奪を恣にす

二、大同二年四月、依西肯卡（黑河上流四七二露里）に於て侵入せる蘇聯人三名は掠奪の上放火一名を慘殺す

三、同年四月所屬及兵數不明の蘇聯兵鵑浦縣依西肯カを襲ひ建物を燒き番人を射殺し屍体を燒却す

四、同年四月二十四日夜、巴爾カカ（漠河下流一一五露里）に於てカ官赴黑中蘇聯人數名亂入し留守人を殺害し家屋を燒く

五、同年五月初旬前記巴爾アナカ上流十支里上地營子に於て蘇聯人の爲滿人九名殺害され家屋二戶燒却さる

六、同年七月二日蘇聯人二名呼瑪縣地方に越境し來り農民二名及白系露婦人一名を殺害す

（自此外事態明白ならざるもの十數件あるも略す）

沿岸各地何れも交通不便の地なれば此種暴虐事件にして公けならざるもの枚擧に暇なかるべく、しかも彼等の一度襲擊せる痕は全く文字通りの廢墟と化すに至りては何人と雖も憎惡を感ぜざるを得まい

四、結言

黑龍江沿岸地方は過去十數年の暗黑の世界より漸く曉を迎へんとする黎明期に入らんとして居る。過去十數年間に於ける沿岸住民の粒々辛苦に對して酬ひられたるものは蘇聯の暴虐と數度の水災と之に伴ふ物資の缺乏、貪官汚吏の搾取であつた、幸ひ滿洲建國の業なりて其王道樂土の惠澤も、此邊地にもやがては及ぶであらうが、吾人は此地沿岸一帶の持つ經濟、軍事、國交上の重要性を思ふ時それが一日も早からんことを祈つてやまぬものである(完)

旅客案內事務打合せ會擧行

廿一、二兩日京城で

朝鮮鐵道局主催第九回旅客案內事務打合せ會は來る二十一、二の兩日に亘つて京城で開會されるが滿鐵各鐵道事務所からも一名づゝの代表者を出席させる、新京鐵道事務所は高橋旅客主任が出席することに決定、新京鐵道事務所から提議する議案は大体次の四項である

一、旅館券發行に關する件

旅館沸底の新京現狀に鑑み切角旅館券を所持せる旅客に指定の旅館に宿泊せしめ得ざることがあるため旅館券發行の中止を要望

二、省局線發團体の乘車手配統一に關する件

三、團体旅客の日程及び旅館變更に關する件

旅行團が途中で日程、旅館を濫りに變更されては列車旅館等が困り、特に旅館の弁當仕出しに迷惑することが多いため

四、團体の北滿鐵道乘車に關する件、日程變更をやる場合は少くとも三日前通知すること

國際觀光博

關係者に運賃割引

來る三月二十五日から五月二十三日まで長崎市及び長崎縣島原雲仙で開催される長崎市主催の國際産業觀光博覽會に出品人、審査員、事務關係役員及び出品物に對して滿鐵では左記により運賃割引をなす

出品人及び關係役員

一、區間社線連帶各驛から局又線は商船大連航路經由省線長崎驛行

一、期間二月一日から五月二十三日まで

一、通用期間乘車券發賣の日から六月三十日まで

一、割引率二、三等往復に限り大人普通運賃の二割引

出品物

一、級別　貨物各級

一、社線連帶各驛と局線又は商船大連航路經由省線長崎驛又は島原鐵道島原驛相互間

一、搬入二月一日から三月二十四日まで、搬出五月二十四日から六月三十日まで

一、割引率普通運賃の二割引

大嶺で

自動車襲擊さる

（チチハル國通）黑河より富地に達した情報に依れば、廿五日午後十時頃大嶺に於て黑河より訥河に向ひつゝあつた黑河長途汽車會社公司第九號自動車は又復匪首洪若將の率ゐる匪團廿餘名に襲擊され、護衛兵孫某戰死、他二名は重傷を負はされ匪賊は銃器其他積載貨物全部を掠奪逃走した急報に接し第三旅團は急遽これが討伐に向つた

バード少將の探險隊

氷壁の崩壞に遭遇

（鯨灣（南極地方）卅日發國通）バード少將の率ゐる南極探險隊は舊宿營地シャトル、アメリカに根據を確立しやうとして必死の努力を續け、海岸を去る四哩の地點に假荷下しキャムプを建設したが、卅日午後に至り鯨灣前方の氷壁が崩壞し始め、隊員の一部は重大危險に曝されるに至つた裂目は氷壁の全面に亘り跡に假荷下キャムプより一哩の氷上にある繼荷置場の背後に大龜裂が生じた爲、假荷下キャムプにあつた探險隊員四十餘名は完全にジェーコル、ルパート號との連絡を絕たれるに至つた、氷上に殘された隊員は今や裂け割れる氷原と吹き荒ぶ極地の烈風の裡に携行した探險犬群を指揮して食糧を求めに本船に辿り着くべく悲壯な活動を續けてゐる

新刊書買入れ

新京圖書館で

新京圖書館ではこの程新刊書約二百冊を購入したがそのうち目新しいものは次のやうなものである（括弧內は著者）

皇國の軍人精神（荒木貞夫）清朝時代における滿洲の農業關係（滿鐵經濟調査會）モダーン日本印象記、日露年鑑、文藝支那の建設（金崎賢）女の一生（山本有三）滿鐵改造論（日笠芳太郎）世界經濟年報、滿洲國の産業開發と新規事業計畫、支那の秘密結社（宮原民平）名人達人決死の大試會（鳴弦樓主人）滿蒙彩描（平野零兒）聖戰熱河に觀る（田原豐）鱈魚無駄話（庄司淺水）自己を語る（ムッソリーニ著、中村恒夫譯）大臣病患者（伊井藤吉郎）一九三六年（石丸藤太）蒙古語大辭典（陸軍省編）

日日歌壇

豫定通り一昨三十一日午後七時より室町四丁目大陸別野にて歌會を開きました豫想以外の盛會にて持寄りの吟詠の批評に熱辯飛び和氣靄々の裡に十時過ぎ散會致しました

中にも女流歌人の二、三が交りたる事は大きな喜びでした。本月中旬頃第二回の歌會を開き益々健實なる歩みを續けたいと思ひます

昨日の詠草は左の通りです

今後共宜しく御後援の程伏してお願ひ申し上げます

尚入社希望者は別記小生迄とおかきかへ下さいます樣御願ひ申し上げます

二月一日

眞人社新京支社
曙町二丁目十ノ二
長倉孝夫方
山岸　武夫
安川　秀子

ふれ／＼と舞ひ降る雪のさろ／＼と地に消えゆくを飽かずしてみる

ふわ／＼と雪のひとひら襟首に入りたるらしじつとこらへる

佐藤　敏雄

風もなき清き朝路の雪の面にひとり亂るゝ我れの足跡

わがために今年は職をみつけんと老ませし父の筆のあさかな

林田　露路

淋しさをかこちて外を眺めしが木立も靜かに雪かむりゐる

夢の間にはや松の內過ぎにけり淋しく殘る梅のひとひら

山岸　武夫

馬鹿なるは遠き頃より知りゐれどこの手にも馬鹿と書きあるといふ（手相）

淋しき事を何かいひたきーと鉢のまづしき花に向ひをり

關　房枝

ふるさとの夏訪れし友ごらの五日に着くと待たるゝ便りに

春の陽を鵜呑みにしつゝ庭先に鳩の翔りをわれ眺めゐる

桐山　光

青白き灯かげのもとに踊りゆく我が身ぞ君に告げる術なく（女給）

白銅を一つ握つてとぼ／＼とネオンの街を我はあゆめり

田淵きよ子

ほがらかに語りてはあれど胸ふかく秘めしなやみは重くよどめり

姉弟のちぎりむすべといく度もわれに迫れる友をさびしむ

林　暁之助

つく／＼と保險勸誘をする人にいきどほらしくなりていまはむかへり

この月も收入ゆなきわがくらし毎日のそばを食ひつゝさびし

松尾作次郎

各々の性におのづと生ひてゆく子らを見守る父のみこころ

嫁ぎしと聞きて心の淋しけれおのが戀せし乙女ならねど

海の外から

小さい發火体で內臓に紫外光線

紐育の或る醫師は紫外光線で內臓を健康ならしむる爲め、小さい發光体を取り付け光線放射器を氣管內に潛下、肺病治療等に偉大なる効果を收めることに成功した　尚此の小器の使用時間は僅々二、三分間であるから患者は何等苦痛を訴へることなく治療を受けることが出來ると云ふ

米國では死亡者減少

米國統計局最近の死亡率發表に依れば一九三〇年には千人に付十一人三分、卅一年には十人九分、卅二年には十人六分、卅三年には十人四分となり年々死亡率の減少が判明した

米國赤十字昨年度篤志婦人の奉仕別

米國赤十字本社では三三年度に於ける篤志婦人の社會奉仕種別を調査、次の如く發表した即ち衣服調製に從事せる者六十萬人、施藥養育衛生の手傳ひ、家庭及病院奉仕、八萬八千九百二十八人であつた

日本の鐵道は世界一事故が少い

英國交通協會では豫て昨年度歐洲諸國の交通事故百キロ當り比率を調査中の所左記一部の發表を見た、英國一一、四四件、佛國一一、三四件、獨乙一〇、八七件、伊國一一、〇七件、尚、日本の〇、五八件をお諸國と比較すれば日本は世界一の無事故を統計が示してゐる

ラジオ欄

二日(金曜日)新京

午後五時〇分　子供の時間　少年詩吟　關德豐村
同五時三〇分　ニュース(英語)
同五時四〇分　ニュース(露語)
同五時五〇分　ニュース(鮮語)
同六時〇分　ニュース(東京より)
同六時二〇分　語學講座(滿語)　講師　高宮盛逸
同六時四〇分　語學講座(日語)　講師　植松金枝
同七時〇分　演藝(滿語)
同七時三〇分　講演(滿語)　協和會奉天地方事務局　朱松生
同八時〇分　ニュース　氣象豫報プロ豫告(滿語)
同八時三〇分　時報(東京より)
同八時三一分　ニュース(東京より)
同八時四五分　ニュース　氣象　豫報
同九時〇分　演藝(奉天より)
引續翌日のプログラム豫告

日本の聖女（上映上演）

生田葵 作　南部龍平 畫

三八

お春の在所探索（四）

嫁てが所司代の白洲へ呼出されてゐるやうな、厳しい訊問振りであつた。

孫七は、初めて、様子が呑み込めたやうに、二人は、顔を見合した。

しかし直ぐ口を開かうとはしなかつた。

「何うぢや、何を愚図々々いたしゐる。早く申上げぬか」

數之丞は、今迄とは打つて變つたやうな憤り顔になつて、きめつけた。

「はい／＼申上げます。富藏お前え先に言つたら何うぢや。あの時はおめえが先になつて仕事を承知したのぢやないか」

「だつておめえだつて、一兩の顔を見ると、直ぐ承知したんぢやないか」

二人は、そんなことを言つて、譲り合ひ、急速に述べやうとしない。

「こりや、そんな譲り合ひをしてゐては果てしがつかない。前に孫七から申立てい」

一際鋭く、數之丞はかう命令した。

もうかうなつては仕方がないものと觀念したらしく、孫七は其處へしやがんでぼつり／＼陳述しだした。

「俺等あんなかどわかしめいたことをする奴等と、同類でも何でもありません大佛の妙法寺前まで客人を送り屆けた歸り途、呼び立てられてつい客にしたばかしで御座ります」

「送り先きは、獻上手前の聖護院宮御門跡前・大和屋儀右衛門さんの家で御座ります。」

孫七の後に富藏が言つた。

と、數之丞は、側に坐つてゐる儀右衛門の方を睨つと見た。

「大和屋儀右衛門とは、聖護院御門跡並に知恩院の定火消役、人入稼業を致す、大和屋儀右衛門の事か」

渡瀬が代つてたづねた。

「左樣でござります。あの邊かけて北は吉田南は大佛邊まで東山一帯を縄張内にしてゐなさる大親分樣でござります」

「しかと左樣か、偽りではなからうな」

孫七の答へに數之丞が念を押した。

「同類と思はれて、罪を引受けることが、あつちやつまりませんから隠さずに、申上げたのでござります」

富藏がいつた。

それに相違ないとならば、拇印せい、とあつて、手早く渡邊が硯箱を引寄せ白紙にさらさらと、

當日白川花賣婆の女を猿轡のまゝ儀右衛門方に運び入れたのに相違ござなく候、

駕籠舁夫
孫七
富藏

と認めた名の下に、二人は拇印させられた。

「申立神妙であつた。此事は他言一切無用ぢや。手間を取らした代償として一兩づゝ取らす、有がたく頂戴せい」

數之丞は、懐中から、金子を取出して、二人の方へと、押しやつた。

それを受取ると與夫二人は許されて往つた。

「手強い奴の處へ、お春樣は、かくまはれてお出でになりますな」

然う言つて、次の襖を開けて、吉兵衛が、その座へと、這いつて來た。

背後には駿氣いおかみに化けて一役務めたお定が侍つてゐた。

○—○—○—